

アイデア提案の概要一覧(令和4年4月28日現在)

No	受付日	事業の名称	登録の目的	アイデア提案の概要
1	平成20年11月21日	地域のふれあい居場所づくり事業	○担い手・団体募集 ○情報収集	<p>○課題</p> <p>核家族化による高齢者世帯・1人暮らし高齢者などの増加が見られ、地域からの孤立・引きこもりが懸念される。また、共働き世帯や1人親世帯の親や子が安心して暮らせる環境が求められており、地域での互助による見守りが必要と考えている。</p> <p>○解決策</p> <p>地域住民が気軽に集えるふれあいの居場所をつくる。 誰もが必要な時に必要なだけ利用できる大家族のような施設らしくない地域住民のふれあいの居場所をつくる。 駄菓子屋、小物、リサイクル物品の物々交換など、地域交流の場をつくる。 手作りおやつ、特産品、軽食のサービスを行う。 引きこもりがちな1人暮らしのお年寄りに、弁当を届けたり、話し相手になったりする。</p>
2	平成24年9月26日	市民犯罪被害者相談室の設置	○情報収集	<p>○課題</p> <p>女性の性被害(ワイセツ、痴漢)行為、家庭内における夫の暴力行為、高齢者の振込み詐欺被害事件等の犯罪被害者の増加とともに、犯罪に巻き込まれて苦しむ被害者や家族の支援が必要となっている。</p> <p>○解決策</p> <p>相模原市に犯罪被害者に対する相談室を設置し、それぞれの犯罪における被害者の支援を行う。運営にあたっては、専門家を配置するとともに、ボランティアの活用を図っていく。</p>
3	平成25年5月28日	花桃こみち	○担い手・団体募集 ○情報収集	<p>○課題</p> <p>中央区上溝、南上溝保育園付近の鳩川の土手は雑草が伸びたままとなっている。雑草が茂っている中に、ごみが捨てられている。</p> <p>○解決策</p> <p>雑草を刈って、花桃の木を植え、花桃こみちをつくる。花桃こみちの手入れを行うことできれいになり、ごみの投げ捨てを減らすことができる。</p>
4	平成29年3月31日	相模原の地域資源を活かした体験型ツーリズム	○担い手・団体募集 ○情報収集	<p>○課題</p> <p>相模原市には、津久井・相模湖・藤野エリアを始めとし、相模川流域など豊富な地域資源に溢れていると感じている一方、まだまだ埋もれている・知られざる・衰退していくものが目に付くと感じており、それらを観光資源という視点で焦点を当てることで、より活かしていけるのではないかと感じています。</p> <p>○解決策</p> <p>相模原市にある地域資源の持つ魅力を観光視点で開拓し、市内外の人々に向けて農業や芸術、里山や文化体験などのコンテンツとして企画・発信する体験型ツーリズム事業を行うことを目指しています。これによって、地域資源の魅力を引き出し、それによって起業や雇用を生む流れを促す手助けが出来ればと考えています。</p>
5	平成29年12月1日	ミミズコンポストによる生ゴミ削減・有機農業	○情報収集	<p>○課題</p> <p>リサイクルがすすむ現代においても生ごみは焼却されCO2・埋立問題が発生しています。生ごみを資源として有効活用する方法はないか考えています。</p> <p>○解決策</p> <p>ミミズを使った生ごみの堆肥化は、エネルギー負荷をかけず、臭いを出さず、生ごみを資源に変えます。環境に優しい循環型社会の形成につながります。ショッピングセンターや駅ビル等の飲食店から出る生ごみを収集し、堆肥を作り、農園等で有効活用します。</p>

アイデア提案の概要一覧(令和4年4月28日現在)

No	受付日	事業の名称	登録の目的	アイデア提案の概要
6	令和元年6月10日	百均グッズで歩き易い靴にする	○担い手・団体募集	<p>○課題</p> <p>足当たりが良いということで、自分の足より大きく、柔らか過ぎる靴を履いて足アーチを経年で潰してしまっているトラブルを多く見かける。足の病院に掛かる約8割が足アーチ潰れによるトラブルである。寝たきりになるフレイルは足が弱ることから始まると知られているが、足・靴への関心・知識を高めないと高齢化が進む中で要介護状態が増える懸念がある。 自分の足の状態を知り、足に合った靴を履く事は市民の健康にとって、とても大切なことである。</p> <p>○解決策</p> <p>本当にあった靴にするにはフルオーダーが必要だが、全ての人が購入できるものではない。簡易的にはなるが、足の悪化を少しでも食い止めたいため、以下の方法で足・靴の啓発を行いたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. どういう靴が合っているのか、合っていない靴を履いているとどうなるのかという座学 2. 足の計測⇒正しい靴のサイズを知る。 3. 百均グッズでパッドを入れると少しでも楽になるという経験をする。
7	令和4年4月28日	高齢者へのスマホ普及事業	○担い手・団体募集	<p>○課題</p> <p>単身もしくは夫婦のみで暮らす高齢者世帯が増加している。それに伴い、情報収集・発信や買い物の場面において困難を感じていたり、自治会活動の低迷により孤立を深める高齢者も増加しているという現状がある。</p> <p>○解決策</p> <p>スマートフォンを活用した、高齢者が安心して生活できる環境づくり</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自治会でスマートフォンの使い方などを実演(実演するのは自治会員) 2. 購入希望者を募る 3. 購入者を対象に1単位1時間で20単位ほどの講習を行う <p>講習を通してコミュニティ形成も図られ、習熟度合いによってはネット販売の活用により買い物難民の解決や、位置情報を活用した行方不明高齢者の捜索にも役立つものと思われる。</p>